

令和 5 年度ターンテーブルの運営状況等について

1. 施設の特徴

- ・平成 30 年 2 月、東京都渋谷区に開設、令和 6 年度で 8 年目を迎える
- ・飲食・宿泊・交流機能を通じ魅力体験できることが特徴

【令和 5 年度の主な取組実績】

- ・「徳島の食」と「阿波おどり」を融合させた食文化イベントの開催
→ 徳島の「食」×「文化」の発信・交流拠点、県出身者が集う場として機能
- ・首都圏等で開催されるイベントに出張出店し、18万6千人（推計）に魅力を発信
- ・TV等多数のメディアに露出（R5実績 534回：広告換算効果額 約3億円）
- ・県産食材のテストマーケティングや生産者と実需者とのマッチングを実施

2. 運営状況

- ・インバウンド需要が回復し、施設利用者数や売上、利益が過去最高となった
- ・ターンテーブルがきっかけとなって県産食材等の取引につながった売上額も過去最高

【施設利用者数】

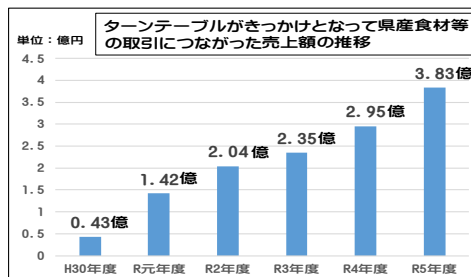
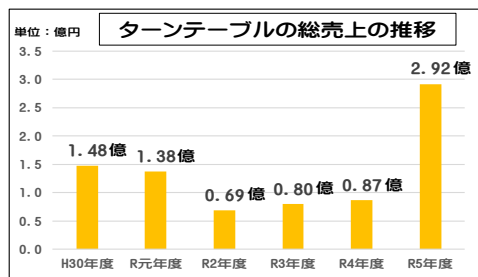
	R4年度	R5年度	前年度対比	
飲食・物販	55,727人	56,979人	+1,252人	102%
宿泊	5,095人	14,197人	+9,102人	279%
計	60,822人	71,176人	+10,354人	117%

【収支状況】

区 分	R4年度	R5年度	前年度対比	
総売上高①	86,613千円	292,255千円	+205,642千円	337%
飲食・物販	69,976千円	178,391千円	+108,415千円	255%
宿泊	16,637千円	113,864千円	+97,227千円	684%
売上原価②	34,591千円	78,256千円	+43,665千円	226%
人件費、一般管理費③	51,342千円	212,615千円	+161,273千円	414%
経常利益（①－②－③）	680千円	1,384千円	+704千円	204%

【ターンテーブルがきっかけとなって県産食材等の取引につながった売上額及び仕入れ額】

	R4年度	R5年度	前年度対比	
売上額（商談会・斡旋等）	294,523千円	383,295千円	+88,772千円	130%
仕入れ額	259,981千円	339,778千円	+79,797千円	131%



3. 今後の主な取組

○県産食材の認知度向上及び販路拡大

- ・「出張アンテナショップ」を積極的に展開し、首都圏での県産品の露出機会を拡大
- ・県内生産者や事業者の販路拡大を支援するテストマーケティング機能を強化

○魅力発信・交流拠点機能の最大化

- ・首都圏における県出身の若者の発想やネットワークを活用した交流会を開催
- ・新たな「徳島の食の魅力」を創出し、徳島新時代に向けオール徳島で魅力を発信